

II 文明科目

芸術言語特論 (Theory of Art Language (Advanced))

田中 理恵子 非常勤講師 前学期 1-0-0

言語感覚や表現形態は、当該社会・文化を根底から規定する。現代日本語の芸術言語表現は、近代化以降社会の様態と密接にかかわり、同時に個人の主観や情緒性にも多大な影響を与えてきた。また、サブカルチャー領域の言語表現は、主流文化以上に、時代の「気分」を反映させる。たとえば流行歌など、多くの人々に口ずさまれ身体化される言葉は、当該社会・文化の中核を担ってきた。これらを踏まえ、本講義では主として「文芸」「詩歌」「歌詞」など美的な言語表現を軸に、現代日本語を美学的に検討したい。

言語文化特論 (Theory of Language Culture (Advanced))

田中 理恵子 非常勤講師 前学期 1-0-0

日本語表現は、現在多様な様相を呈している。とりわけ、情報技術の進展はコミュニケーション形態の大幅な変容をもたらし、おのずと言語表現のあり方にも影響を与えている。本講義では、文学、詩歌などにとどまらず、同時代的な美的言語表現について検討する。具体的には、漫画、アニメ、映像表現など視覚表現領域、ゲームに代表される「身体化される双方向性メディア」の言語表現、コミュニケーション形態の変容にもなる言語表現の様態、さらに外国語との相互作用による異文化受容の検討や、消費文化との関係性など横断的な領域を検討し、現代社会の「日本語のリアリティ」と美的様態を追求する。

現代アートワークショップA, B (Modern Art Workshop A,B) SC : (H25登録) 創造性育成科目 (Aのみ)

Suzanne Meyer 非常勤講師 前学期A 後学期B 各1-1-0

In this course the students will produce artworks, experimenting with different materials and techniques and learning how to express themselves in mainly two-dimensional and few three-dimensional artworks, in the figurative and the abstract, by the means of drawing, painting etc. and also using a living model.

The workshop will be inspired by and based on the artworks of important European, American and Asian artists, whom I will introduce with a host of visual materials in the first 90 minutes of each class, with a focus on contemporary art and its sources in the past. The introduced artists will be different in Workshop A and B, each course following a main topic.

After the end of the course, the students will have the chance to show their artworks to the public.

Trained academic skills are not required. Lectures will be given in English and Japanese.

日本語と英語で講義を行う。

映像基礎ワークショップ(Basic Visual Image Workshop) SC : (H25登録) 創造性育成科目

Androniki Christodoulou 非常勤講師 前学期 1-1-0

A workshop on the basics of photography regarding composition, the use of natural and artificial light, the use of colour and how to use all these in order to develop a visual language. Examples via slideshows with photos by international photographers will be presented and commented during the workshop. The students will be requested to create images in relation to what is taught and at the end of the workshop there will be an exhibition with selected prints from the students' photos. This workshop will be introductory so that the students can be more prepared to join the Advanced Visual Workshop.

It is recommended to take this class after taking Modern Art workshop A and B.

現代アートワークショップAまたはBを修得したあとの履修を推奨する。日本語に通訳のできるTAがつく。

映像応用ワークショップ (Intermediate Visual Image Workshop)

Androniki Christodoulou 非常勤講師 後学期 1-1-0

Students already familiar with the basics of photography will be introduced to working on projects that express ideas or tell stories. They will be encouraged to develop their personal visual language in the style of contemporary documentary photography. During the workshop each student will work on a project that will be completed by the end of the workshop and a set of those pictures will be exhibited at the university. Photo essays by international photographers will be presented via slideshows and commented during the workshop.

映像基礎ワークショップを修得したあとの履修を推奨する。日本語に通訳のできるTAがつく。

ミュージックサウンド入門 (Introduction to Music Sound)

河野 土洋 非常勤講師 後学期 1-1-0

理工系学生のクリエイティブなセンスを刺激する上で、アートの世界に触れてみることは非常に大切なことである。「サザエさん」の音楽などで活躍中の本学出身の作編曲家が講義を担当。

時代が変わり、音楽を生み出すデジタル機器が、従来からの生楽器(acoustic)に取って代る勢いを見せ、現在では多くの音楽制作がいわゆる「打ち込み音楽」に殆ど委ねられるようになって来ている。しかしこの現象は、音楽制作のコスト削減などの理由が大きく、本来の、人間による楽器演奏の良さを超えるものではないだろう。

講義では、従来の作曲編曲の理論に加えて、近年隆盛してきたコンピュータ・コントロールによる音楽制作(作曲)を課題とし、クラシックの和声学とジャズ・ポピュラー双方の理論と実際を取り上げ、人間にのみ与えられた音楽の深淵に挑んで行こうとするものである。

一見、冷たいと思われがちな「打ち込み音楽」に、どのように愛を盛り込んで行くか、また人間の演奏技術をはるかに越えた超絶技巧によるパッセージ、電源を切るまで演奏し続ける無限ループ音楽、そして、従来からの楽器の音色を越えた未体験のシンセサイザーの音色をどう扱っていくかなど、多くの音楽を実際に聴きながら、アートと工学におけるクリエイティブなセンスを感覚的に捉えていく。

Advanced Art Workshop A

Suzanne Meyer 非常勤講師 前学期 1-1-0

I will introduce main works of sculpture in Western and Asian art, the figurative and the abstract and the expanded contemporary concepts of space and three-dimensionality. Based on the lectures the students will produce three-dimensional artworks, as modeled sculptures, objects and installations, using diverse materials and techniques. The materials might be clay, stone, plastic, wood and others.

Lectures will be given in English and Japanese.

日本語と英語で講義を行う。現代アートワークショップAまたはBを修得したあとの履修を推奨する。

Advanced Art Workshop B

Suzanne Meyer 非常勤講師 後学期 1-1-0

This is a course about the various uses and meanings of elements of art, such as light, in the Visual Arts. In the lecture, the changing its expressions and contents in Western art will be introduced, beginning with painting, for example the work of specific artist, up to contemporary installations. Inspired and based on the lecture,

the students will produce drawings, paintings, three-dimensional objects and installations etc.

Lectures will be given in English and Japanese.

日本語と英語で講義を行う。現代アートワークショップAまたはBを修得したあとの履修を推奨する。

芸術ワークショップ2014A, B (Art Workshop 2014A, B)

大城 康和 非常勤講師 前学期A 1-1-0

Paco Knöllner 非常勤講師 後学期B 1-1-0

世界を代表するアーティストから直接、現代アートに関して深い興味のある学生に対して講義、アートの実習、作品作成、鑑賞と討論をワークショップ形式で行う。

芸術ワークショップ2014Aでは、絵画の問題を考える。現代美術において表現のメディアムは多様化しており、写真やビデオまたはマテリアル等、時代の流れとともに常に進化するテクノロジーと絡み合いながら様々な実験が行われている。このワークショップでは最も一般的且つ基本的な美術表現である絵画の持つ不完全性、そして有効性を議論することにより現代美術への理解を深め、批評的な視点をベースに各自作品を制作し、一つのテーマに沿った展覧会を組み立てる。

現代アートワークショップAまたはBを修得したあとの履修を推奨する。

英語で読む思想コースA (Special English Workshop on North American Philosophy A)

井上 久美 非常勤講師 前学期 2-1-0

芸術をはじめ、創造的な仕事を国際的な舞台で行い、欧米やアジアや世界各地の人びとと協働するには、ワーキングランゲージとしての英語が必須である。英語を聞き取り、理解し、話す。あなたの頭のなかに英語の回路を構築し、日本語の回路をオフにしなければならない。日常英語を越えた思想的なテキストを手がかりに、夏休みの1週間をかけて、毎日英語の集中特訓をする。このコースはTOEICでおよそ550点以上の学生を対象とする。

英語で読む思想コースB (Special English Workshop on North American Philosophy B)

Neil Cooke 非常勤講師 後学期 2-1-0

世界的に創造性を武器に活躍するためには、現代北米の思想を理解することが必要である。その基となる概念であるfreedom, democracy, fair, right 等と、その背景となる基本的テキストを集中的に学ぶ。その際、英語の発表と討論のやり方に関しても学習する。このコースはTOEICでおよそ700点以上の学生を対象とする。

政治哲学 (Political Philosophy)

宇佐美 誠 非常勤講師 後学期 1-0-0

この講義は、近現代の政治哲学上の主要学説を学ぶことを通じて、今日の公共的問題について自ら思考する能力を高めることを目的とする。2014年度には、ジョン・ロールズの正義理論の概要を修得するとともに、彼の影響下で生成・発展してきたいくつかの研究領域を探索する。授業は、講義部分と討論部分からなり、履修者は、十分な予習にもとづく積極的発言を求められる。

社会哲学 (Social Philosophy)

内藤 淳 非常勤講師 後学期 1-0-0

この授業では、「社会制度の正当性」をテーマに、婚姻制度や福祉政策などが持つ社会的な意義や正当化根拠を、哲学的な観点から検討する。それにより、人間の行動や社会を捉える根源的な視点を身に着けると共に、理論的な問題検討能力・批判能力を養成することがねらいである。授業は、講義と討論の両方から構成されるので、履修には、講義内容を十分復習しつつ、積極的に議論に参加することが求められる。

Contemporary Art Workshop I SC : (H25登録) 創造性育成科目

鈴木 昭男 非常勤講師 前学期 1-1-0

At this workshop, the lecturer will overview contemporary art from the viewpoint of an artist and makes artworks with students. We plan to invite one of the most active artists from all over the world. Thus it is really rare occasion to look at modern art directly and to produce artwork with creativity.

Akio Suzuki is a world famous sound artist who was invited at Documenta 8. He produced a new instrument "Analapos" in 1970's. The lecture will be given in Japanese and English.

世界的アーティストである鈴木昭男が、現代アートにおける音の役割について本源的な議論をおこない、それを踏まえ学生とともに創作を行う。

Contemporary Art Workshop II SC : (H25登録) 創造性育成科目

キンジ アカガワ 非常勤講師 前学期 1-1-0

At this workshop, the lecturer will overview contemporary art from the viewpoint of an artist as well as make art with students. We plan to invite one of the most active artists from all over the world. Thus it is really rare occasion to look at modern art directly and to produce artwork with creativity.

Kinji Akagawa is a professor emeritus at Minneapolis college of Arts and Design and specialized in community art in the U.S. The lecture will be given in English and Japanese.

現代アートにおけるパブリックアートに関して、この分野を開拓してきたキンジが世界の動向を踏まえ、最先端の理論を教授し学生とともに実践的創作を行う。

Lectures will be given in English and Japanese. 日本語と英語で講義を行う。

How Architects and Planners Improve Our Built Environment

David B. Stewart 特任教授 前学期 2-0-0

This weekly seminar presents and analyzes various recent and contemporary case studies in building and city planning. The course language is English and regular attendance is strongly encouraged. The approach is both theoretical and visual and should appeal to architectural students. However, interested students from any field are most welcome and there are no prerequisites. Teaching style is interactive and will include student presentations. This is not a lecture course and is based on discussion and active participation. We hope to find out and theorize the ways in which building and urban design make for a better life experience in today's cities worldwide.

インダストリアルデザインワークショップ (Industrial Design Workshop)

堀 秀簾 非常勤講師 前学期 0-1-0

ものづくりの原点において最も重要であると考えられる「創造力と発想力」について、ワークショップ形式で具体的な課題を製作しながら思考する授業である。様々な制限の中で製品化される際に、常識や習慣がデザインにおいて創造力の抑制となっていることから、まずはそれを開放し、「無から有を導く」新鮮な発想力を生み出すことの可能性を検証する。

インダストリアルデザイン考 (Industrial Design Concept)

安田 幸一 教授 豊久 将三 非常勤講師 谷 潤一 非常勤講師 ほか

後学期 1-0-0

現在日本で活躍している3人の講師が、分野の異なるインダストリアルデザインについてどのようなデザイン思想でものを創り出しているかを解説する。様々な制限の中で製品化される時の機能と美の関係を解き明かす。

ラテン語 第一 (Latin I)

安村 典子 非常勤講師 前学期 2-0-0

古典ラテン語を学ぶ。古典ラテン語は古代ローマ時代に用いられた言語である。現代の西欧諸国では、フィンランド語、ハンガリー語を除くすべてがラテン語から派生して作られた。したがって、古典ラテン語を学ぶことにより、現代西欧の言語への理解を深めることができる。紀元前1世紀から紀元後1世紀の、いわゆる古典ラテン文学の黄金時代には、キケロ、ウェルギリウス、オウィディウス、セネカ、カエサルなど、多くの作品が残された。また、中世ラテン語は、中世ヨーロッパのキリスト教世界の中で長い年月の間使われ続け、ローマ・カトリックでは、今日でもラテン語を用いている。ローマ法王ベネディクト16世が2013年2月に退位した時に、その退位表明はラテン語で行われた。長い間ラテン語はあまり変化を遂げることはなく、古典ラテン語と、中世キリスト教ラテン語は殆ど変わらない。授業では古典ラテン語を学ぶが、それにより中世ラテン語やキリスト教のテキストを読むこともできる。ラテン語はまた学問領域の共通語として、学名を付ける時に用いられるので、科学者にとってラテン語を学ぶことはきわめて重要である。

ギリシア語 第一 (Greek I)

安村 典子 非常勤講師 前学期 2-0-0

古典ギリシア語を学ぶ。古代ギリシア文明は、その後のヨーロッパ文明の源流として、人文学、社会科学、自然科学などのあらゆる分野に、大きな影響を与えた。古典ギリシア語で書かれた書物は、ホメロスの叙事詩、ソフォクレスなどの悲劇、ヘロドトスなどの歴史書、プラトン、アリストテレスなどの哲学書、ユークリッドの数学書など、多岐にわたる。本講義では、主として紀元前6-4世紀ころに、アテーナイを中心とするアッティカ地方で用いられていたギリシア語 (Attic Greek) を学ぶが、紀元前8世紀のホメロスの言語や、新約聖書が書かれたヘレニズム時代のギリシア語 (Koine Greek) も大きな相違はない。したがって、本講義のギリシア語文法を学ぶことにより、新約聖書等も読むことができるようになる。また、近現代の造語も、ギリシア語やラテン語から作られることが多いので、この分野の理解を深めることもできる。たとえばNASAによる火星探査機「オデッセイ」は、ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』(英名 Odyssey) から命名された。なぜこの言葉が火星探査機の名前として選ばれたのか、その理由は西欧の科学者であれば常識として理解されたであろう。古典ギリシア語を学ぶことにより、西欧文明の根幹の一端にふれたい。

ラテン語 第二 (Latin II)

安村 典子 非常勤講師 後学期 2-0-0

前期に引き続き、古典ラテン語の初級文法を学ぶ。前期のラテン語第一の講義概要に記した通り、ラテン語は今日的生活の中に数多く取り込まれている。学名のみならず、近現代の造語の多くがギリシア語やラテン語から形成されているからである。コンピューター用語のカーソルは、ラテン語の「走る人」という意味で、ユビキタスはラテン語の ubique 「どこでも (ウビークエ)」という副詞を名詞化し、英語読みにしたものである。ラテン語の文法を学びながら、このような新しい言葉の意味を理解する知識を身につけたい。

ギリシア語 第二 (Greek II)

安村 典子 非常勤講師 後学期 2-0-0

前期に引き続き、古典ギリシア語を学ぶ。前期のギリシア語第一の講義概要に記した通り、古典ギリシア語はその後のヨーロッパ文明に大きな影響を与えた。したがって現代に生きる我々にも、決して関わり合いのない言語ではない。たとえばテレビはギリシア語の「遠く (テレ)」と「映像 (ビジョン)」を組み合わせた言葉である。またスポーツ用品メーカーのナイキ社はギリシア神話の勝利の女神ニーケーの英語読み、人気ブランドのエルメスは同じくギリシア神話のヘルメース神のフランス語読みである。ギリシア語の語彙をおぼえ、文法を学習することにより、ギリシア語の読解能力を培うのみならず、他の様々な分野における理解力をも深めてゆきたい。

ラテン語 第三 (Latin III)

安村 典子 非常勤講師 前学期 1-0-0

古典ラテン語の原書購読を行う。ラテン語第一、第二で学んだ基礎文法を復習しながら、ローマ古典時代の原文読解を試みる。紀元前一世紀に書かれたオウィディウスの『変身物語』を読む。『変身物語』は、「変身」というテーマに沿ってギリシア・ローマ神話を集大成したもので、後の文学や絵画芸術にも、大きな影響を与えた。ローマ文学らしい華麗で洗練された文章を学びたい。

ギリシア語 第三 (Greek III)

安村 典子 非常勤講師 前学期 1-0-0

古典ギリシア語の原書購読を行う。ギリシア語第一、第二で学んだ基礎文法を復習しながら、古典時代の原文読解を試みる。今期は、紀元前5世紀に書かれたプラトンの『アポロギア』あるいは、『クリトン』を読む。『アポロギア』と『クリトン』は、プラトンの初期作品に属し、その文章は比較的平易である。プラトン哲学は、後の西欧の学問、とりわけカントやハイデッガー等の近代哲学に大きな影響を与えた。哲学や文芸の基礎をなすプラトンの作品を読むことにより、ギリシア語の読解能力を高め、同時にギリシア精神の中核にふれたい。

ラテン語 第四 (Latin IV)

安村 典子 非常勤講師 後学期 1-0-0

ラテン語第三にひき続き、古典ラテン語の原書購読を行う。ラテン語第三ではローマ古典時代の作品読解を行ったので、ラテン語第四では、ニュートンの『プリンキピア』（『自然哲学の数学的諸原理』*Philosophiae Naturalis Principia Mathematica*）を読む。『プリンキピア』は1686年に完成され、翌1687年に公刊された。自然科学の歴史において、『プリンキピア』の出現ほど重大な事件は他にない、と言われるほど重要な書物である。この画期的な書物の第一巻を読む。

ギリシア語 第四 (Greek IV)

安村 典子 非常勤講師 後学期 1-0-0

ギリシア語第三にひき続き、古典ギリシア語の原書購読を行う。ギリシア語第三では散文の読解を行ったので、ギリシア語第四では、古典ギリシアの韻文を読む。「古典中の古典」と言われるホメロスの『イリアス』を読みたい。『イリアス』は世界最古の叙事詩といわれ、紀元前8世紀ころに作成された英雄叙事詩である。主人公アキレウスの葛藤を通して、生きることの意味を深く問いかけている。2800年を経ても少しも古めかしさを感じず、普遍的な価値を持ち続ける『イリアス』を楽しみたい。

Understanding Cross-cultural Issues in Advanced English

周 育佳 非常勤講師 後学期 2-0-0

This course is designed to enhance students' understanding of various cross-cultural topics by comparing Japanese culture and American culture. For each topic, students will read two short English essays that represent the perspectives of a Japanese and an American. Various reading and listening tasks will help the students understand the notable cultural differences discussed in the texts. The students will also learn to effectively summarize the texts they have read. Other class activities, including group discussion and oral presentation, will provide the students opportunities to express their opinions in English using their own background knowledge. To obtain the full benefits of the course, the students are encouraged to actively participate in all class activities.

Issues in International Cooperation and Collaboration in Advanced English

未定 後学期 2-0-0

This course will enhance students' awareness of cultural differences and how they affect inter-cultural relationships between individuals and within groups. In each class we will discuss a number of facets of culture and look at examples from a number of cultural groups. This will be followed up with stimulating in-class activities that will illustrate how different aspects of culture fit together. In addition to the above mentioned activities, this class will include reading, writing and listening exercises. Students will be expected to participate in discussions and activities; some of which will require doing some reading outside of class.

ピアノによる音の創造 A, B (Sound Creation by Piano A,B)

末永 匡 非常勤講師 前学期A 1-1-0
後学期B 1-1-0

音は芸術の根幹をなし、その創造は全ての創造のもととなる。私たちは普段余りにも多くの音楽を耳にしている。そのため音の創造からはずれている可能性がある。

ピアノによる音の創造Aでは、音楽からいったん離れて、ピアノを媒介として、音を出す、聴く、作為を追求する。その結果新たな創造過程をピアニストとともに体験する事が可能となる。

ピアノによる音の創造Bでは、ピアノによる音の創造Aに引き続き、ピアノを媒介として、音を出す、聴く、作為を追求する。作られた音を様々な音楽との対比から位置づけ、音楽の技法の中から適合したものを選び出し、ディスカッションを通して組み直し、完成させる。

身体による音の創造 A, B (Sound Creation by Human Body A,B)

伊藤 直子 非常勤講師 前学期A 1-1-0
後学期B 1-1-0

「ボディシアター」は、身体を用いた表現の形態である。誰もが持っている唯一無二の身体を創作の基とする。個人の記憶を内包する身体の物語を視覚化するために、今回は「身体を使った音、声」を素材とする。授業では、体幹を作るストレッチを行なった後、個人の資質や出来事をリサーチするクリエーション等、様々な創作活動を試みる。「視覚化」「非日常」「他者との関係性」という舞台表現の創作要素を利用し、新しい身体感覚を発見する。

身体による音の創造Aでは、「ボディシアターの試み：私という体を表現体にするクリエーションの体験」をテーマに、授業の最終目的として、ボディシアターの作品創作を試みる。

身体による音の創造Bでは、「ボディシアターの試み：私という体を表現体にするボディシアターの創出」をテーマに、Aに引き続き、新たな身体と音の関係の探求の結果をボディシアターとしてまとめる。授業の最終目的として、照明等舞台演出を加えた作品発表を行なう。